

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和８年７月23日）

1 主な報告等

(1) 令和８年上半期の少年非行概況について

警察本部から「令和８年上半期（令和８年６月末現在）における刑法犯少年の検挙・補導状況について、刑法犯少年の検挙・補導状況は総数が485人で前年同期比137人増加しており、そのうち、窃盗犯が78人増加している。また、刑法犯少年の学職別検挙・補導状況は、中学生が234人（48.2%）、小学生等90人（18.6%）となっており、本年４月に発生した連続窃盗（ひったくり）事案について、防犯カメラ捜査等により被疑者を特定し、中学生（触法少年）を検挙した。令和８年上半期（令和８年６月末現在）における特別法犯少年の検挙・補導状況について、薬物事案が34人（前年同期比10人増加）で、本年１月に発生した医薬品医療機器等法違反（エトミデート所持）事件について中学生を検挙し、昨年12月に発生した麻薬及び向精神薬取締法違反（大麻所持）事件について高校生等を検挙した。」旨説明があった。

公安委員から「県警察は少年問題への様々な対策を行っているが、沖縄県全体で少年問題に向き合わないといけないと思う。」旨発言があった。

公安委員から「少年問題は、家庭の力が落ちているのが大きな要因ではないかと思う。沖縄県でなぜ少年非行が多いのか、産官学が連携して研究を行ってほしい。」旨発言があった。

公安委員から「刑法犯少年の検挙・補導状況について、小中学生が多く、高校生が少ないのはなぜか」旨質問があり、警察本部から「中学で非行の進んでいる者は、高校に進学しない場合が多いことなどが原因と考えられる。」旨説明があった。

(2) 令和８年上半期水難事故発生状況について（暫定値）

警察本部から「令和８年上半期水難事故発生状況について、県民・観光客等別発生状況は48件（前年同期比１件増）で、罹災者数は70人（前年同期比16人増）、死者数は12人（前年同期比９人減）であり、県民の事故は前年同期比で全て減少し、観光客の事故は、発生件数で５件、罹災者で17人と大幅に増加した。行為別発生状況については、ダイビング中の事故は９件中８件は観光客（うち５件は外国人）であり、その他の罹災者数の増加は、１件複数名のＳＵＰ等事故増加が要因となっている。水難事故防止対策として、那覇空港国内線ロビーウェルカムボードの設置やＳＵＰ・カヌー等対策を行っており、今後は、令和８年沖縄県水難事故防止運動（７月１日～10月31日）、バスラッピング、ゆいレール中吊り広告等を予定している。」旨説明があった。

公安委員から「水難事故防止の対策として、県警察の広報啓発が大きい。今後も継続して行ってほしい。過去に何度も海に潜っているが、海中でウミヘビを見たりしたらパニックになるのではないかと思う。」旨発言があった。

公安委員から「溺水の原因として、内因性のものが多いというデータをテレビ番組などで取り上げてもらうようアピールし、ＳＩＰＥに関する知識を全国的に普及させてほしい。」旨発言があった。

公安委員から「県警察のこれまでの取組が功を奏してきていると思う。県民や観

光客に水難事故防止を刷り込むことが大事で、宮古島に行った際、航空機内にパンフレットが置かれていた。」旨発言があった。

(3) 令和8年上半期違法薬物検挙状況について

警察本部から「令和8年上半期違法薬物検挙状況（令和8年6月末現在）について、検挙人員は155人（前年同期比67人増）であり、罪種別では大麻事犯が115人で全体の約7割を占め、同大麻事犯検挙のうち、施用事犯での検挙人員は16人であった。指定薬物（エトミデート等）の検挙人員は13人と急増している。年齢別検挙人員については、10代が34人、20代が74人で10～20代で全体の約7割となり、指定薬物の検挙は10～20代のみであった。本年4月に実母からの相談により覚知し、女子中学生（15歳）の所持品から大麻の植物片を発見、大麻所持事実で同中学生を不拘束検挙し、本年5月21日に糸満市内において発生した危険運転致死事件の被疑者（27歳）を7月2日に指定薬物のエトミデート所持事実で逮捕、同月13日に指定薬物のエトミデート使用、麻薬のMDMA及び大麻施用の事実で再逮捕した。」旨説明があった。

公安委員から「SNSの世界では、違法薬物にかかる小売が細分化され、誰でも小売できるようになっている。少年達にとって、大麻が安易に入手できることなどから、大麻が犯罪であるとの意識が低いと思われることから、少年達が安易に違法薬物に関わらないような対応も行ってほしい。」旨発言があった。

公安委員から「違法薬物にかかる広報について、「エトミデートは絶対ダメ、エトミデートはとても危険な薬物です。」というような焦点を絞ったものにしてほしい。また、少年犯罪が多いエリアや学区にかかる情報発信を行うような、絞り込んだ対応、危機意識を与える対応も行ってほしい。」旨発言があった。

(4) その他

警察本部から「各種警察活動について、上半期の数値をよく分析し、急激な変化が見られる部分については臨機応変に対策を講じてまいりたい。」旨発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 令和8年第2回沖縄県議会（6月定例会）の結果について

(2) 刑事部

- ・ 指定暴力団旭流會代表者名称の変更について

(3) 交通部

- ・ 安全運転管理者講習委託に関する認定審査について
- ・ 自動車運転免許の行政処分について

(4) 警備部

- ・ 警察職員の援助要求について